第 3 章　2023 年度事業計画

概要 ---------- 42

1　活動計画 ---------- 42

2　会議・会合 ---------- 44

3　粉体工業展 ---------- 44

4　常置委員会 ---------- 45

5　分科会 ---------- 49

6　粉体工業技術センター ---------- 56

7　技術情報交流懇話会 ---------- 57

8　共催・協賛及び後援行事 ---------- 57

9　刊行物 ---------- 58

第3章　2023 年度事業計画

自　2023 年 4 月　1　日
至　2024 年 3 月 31 日

概　要

わが国の景気は、物価上昇による財消費の不振、海外経済減速の影響による財輸出の落ち込みなど引き続き予断は許さないが、インバウンド需要の持ち直し、設備投資の再開、アフターコロナ期を見据えての前向きな投資の増加、雇用情勢の改善などのプラス材料により、内需を中心に緩やかな回復が見込まれています。

このような状況下、当協会では「2022～2024 年度　第 3 期　中期運営計画」に基づき、引き続き以下の重点活動目標を掲げています。

1. 分科会活動の活性化
2. 展示会の新しい展開
3. 広報の改革
4. 国際化の推進
5. 組織の強化

本年度は第 3 期中期運営計画の 2 年目として、これらの目標を基本にした活動を行い、当協会の目的である「粉体に関する鉱工業技術開発および普及を通じて粉体関連工業の発展を図り、もってわが国経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する」ことを目指しています。

1. 活動計画

1-1　調査・研究事業（分科会、分科会運営、技術）

分科会活動は協会活動の中核であり、各分科会は粉体技術の発展と普及を目指すために、今年度も産学官が協力して産業界に貢献できる活動を推進していきます。分科会運営委員会は、分科会が将来に向かって順調に発展できるような体制づくりを行い、組織および運営の充実化を支援します。

技術委員会では、AI 技術利用委員会が今年設立 3 年目となり、粉体プロセスへの活用などの議論を今後も継続し、収集された情報は、国際粉体工業展の「AI 技術利用セミナー」で公開していきます。また、AI ソフトウェア実習講座を開催し、会員企業へ AI をはじめとするデータサイエンスに関する技術を浸透させ、AI 技術の導入を促進します。

1-2　広報・普及事業（総務、「粉体技術」誌編集、産学官連携）

(1) 技術情報の発信

月刊誌「粉体技術」は、協会会員のニーズをより一層反映させ、また、我が国の粉体関連分野に関わる一般読者にも、充実した情報を幅広く提供することを目指しています。2023 年度は最新技術をテーマにした座談会や、現場で使える粉体入門講座などの新企画をスタートさせ、より多彩な面からの情報提供に努めます。また、協会ホームページ会員専用サイトにおいて「粉体技術」誌の PDF 版を閲覧可能にします。

また、情報発信のサービス向上を目的として、ホームページやメールマガジンの活用や改善、粉体技術総覧 Web 版の活用などを進めます。

(2) 産学官連携

POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023の併催イベントとして、大学や公的研究機関と連携し、粉体工学入門セミナー、粉体機器ガイダンス、PX フォーラム（旧、最新情報フォーラム）、APPIE 産学官連携フェア 2023、テクノマルシェ（名刺交換会）の開催を予定しています。

また、同展示会において「技術相談コーナー」を開設して、大学や公的研究機関の研究者が企業からの技術相談に応じるほか、産学技術交流推進部門は常時ホームページ上で協会内外からの粉体技術に関する相談を受付け、大学や研究機関へ橋渡しする役目を果たしていきます。

1-3 人材育成・教育事業（教育部門）

粉体入門セミナー、粉体技術者養成講座などを中心に以下の講座、セミナーの開催を予定しています。

・粉体入門セミナー（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）
・粉体技術者養成講座（8 講座）
・粉体技術専門講座（晶析分科会）
・粉じん爆発・火災安全研修（初級基礎編）【Web】

1-4 規格・標準化事業（標準粉体、規格、粉じん爆発）

・標準粉体委員会

JIS Z 8901 改定委員会にて 4 部構成の JIS 原案骨子を作成します。MBP 粒子の粒子径分布および不確かさを決め現状のデータとの比較検討を行います。また、新旧の沈降天秤粒子径測定機の相関性は多くの粉体で確認されつつありますが、1-16 種（重質炭酸カルシウム）のみ合致しておらず、再度確認を行い新しい測定装置への移行を完了する予定です。

・規格委員会

規格委員会は、2 件の継続 JIS 原案（Z 8827-2、Z 8831）を日本規格協会へ提出し、3 件の JIS 原案作成委員会を立ち上げます。

・粒子特性評価委員会

粒子特性評価委員会は、第 64 回 ISO/TC 24/SC 4 国際会議（米国）へ出席し、国際規格作成に参画します。10 月京都において第 65 回国際会議を開催します。

・ふるい委員会

ふるい委員会は、ISO/TC24/SC8 試験用ふるい及び工業用ふるいの国際会議が開催される場合は、出席します。

・集じん技術委員会

集じん技術委員会では昨年度に引き続き、「ろ布の帯電性能・難燃性能評価試験法」など 3 件の国際規格開発を行います。

・粉じん爆発委員会

粉じん爆発委員会は、粉じん爆発・火災安全研修【初級】、および国際粉体工業展大阪2023の併催行事である粉じん爆発情報セミナーのプログラムを決定し、2023 年度に開催します。

1-5 海外交流事業（海外交流）

韓国の KOREA CHEM、米国・シカゴの iPBS、中国・上海の IPB、独・ニュルンベルクの POWTECH には、相互協力契約に基づいて交換ブースを出展します。

海外情報セミナーを企画し、国際粉体工業展大阪2023にて開催します。

1-6 展示会事業

POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023を、10 月 11 日（水）～10 月 13 日（金）、インテックス大阪 4・5 号館にて開催します。200 社/600 小間の規模で開催予定です。本展示会では「未来をつくる PX(Powder-Technology Transformation)」をテーマに掲げ、PX フォーラム（旧、最新情報フォーラム）、粉体機器ガイダンス、各種セミナー、製品技術説明会、技術相談、学生交流会、産学官連携など多くの併催行事を計画しています。

前回同様、展示会場でのリアル展示会と併せてオンライン展示会を 9 月 27 日（水）～11 月 10 日（金）に開催します。

1-7 標準粉体製造頒布事業（製造事業部門）

協会の収益部門でありますが、2022 年度後半より新型コロナウイルスの影響からの回復が見られ、また販売価格の値上げ効果も相まって、今期売上はコロナ前の水準を計画しています。また、客先サービス向上、業務効率化を図るため新しい受発注販売システムの導入を計画します。

1-8 会員共益事業（技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成）

以下の活動を通じて、会員相互の親睦と技術情報交流、人脈形成などの促進を図ります。

・技術情報交流懇話会：火曜会（東京 4 回）、水曜会（名古屋 3 回）、木曜会（大阪 3 回）、金曜会（福岡 2 回・広島 1 回）を開催します。

・推薦審査委員会：分科会功労賞、委員会・部門功労賞、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者賞の審

査・推薦および個人会員・会友の入会審査を行います。

・人材育成委員会：「若手のつどい」を 4 回開催、国際粉体工業展大阪2023に併せ、学生ツアーの企画・運営を行います。

2. 会議・会合

2.1 第 42 回定時総会

開催日時：　2023 年 5 月 23 日（火） 13:30
場　　所：　東京/東京ガーデンパレス
次　　第：　＊総会
＊表彰式
協会賞授与、粉体工業展賞授与、粉体工業功績者表彰
＊特別講演
＊懇親会

2.2 理事会

	開催日時		開催場所
第 1 回	2023 年　5 月　11 日(木)	14:00	大阪/ANA クラウンプラザホテル大阪
第 2 回	2023 年　8 月　 3 日(木)	14:00	東京/東京ガーデンパレス
第 3 回	2023 年 11 月　21 日(火)	12:30	京都/ホテルグランヴィア京都
第 4 回	2024 年　3 月　14 日(木)	12:30	大阪/ANA クラウンプラザホテル大阪

2.3 諮問会議

	開催日時		開催場所
第 1 回	2023 年 4 月 19 日(水)	10:00	東京/種苗会館
第 2 回	2023 年 7 月 11 日(火)	13:30	東京/東京ガーデンパレス
第 3 回	2023 年 10 月 25 日(水)	13:30	名古屋/名鉄グランドホテル
第 4 回	2024 年 2 月　22 日(木)	14:00	東京/種苗会館

2.4 秋期定例会合

開催日時		開催場所
2023 年 11 月 21 日（火）	15:00	京都/ホテルグランヴィア京都

2.5 分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議

分科会連絡会議	2024 年 1 月 26 日（金）13:00	名古屋/名鉄グランドホテル
委員会・部門連絡会議	2024 年 1 月 27 日（土） 9:30	名古屋/名鉄グランドホテル

3. 粉体工業展

3.1 POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023の開催

2023 年 10 月 11 日（水）から 13 日（金）までの 3 日間、POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023が開催される。大阪開催として、15 回目を迎える今回は、「未来をつくる PX(Powder-Technology Transformation)」をテーマに掲げ、多くの併催イベントを企画し、さらに魅力的な展示会づくりを目指して綿密な準備を進めつつある。前回に引き続き、展示会場でのリアル展示会とともに、会期前～会期後（9/27（水）～11/10（金））にオンライン展示会を開催する。また、今回初の試みとして、会場内に「PX ステーション」というスペースを設け情報発信し展示会を盛り上げることになり、内容を検討し準備を進めている。

◇開催概要

会　期：2023 年 10 月 11 日（水）～13 日（金）（オンライン展示会は、9/27（水）～11/10（金））
会　場：インテックス大阪（南港） 4・5 号館およびオンライン

テーマ:未来をつくる PX(Powder-Technology Transformation)

◇出展対象技術・製品

製造・プロセス機器ゾーン

粉砕装置／ふるい分け装置／分級装置／ろ過装置／混合装置／混練装置／造粒装置／コーティング装置／乾燥装置／供給装置／輸送装置／分散装置／集じん装置／成形装置／表面改質装置／包装装置／焼成装置　など

計装・測定、ラボ機器ゾーン

計測機器／計装機器／ラボ機器／制御システム／ FA 装置　など

材料、エンジニアリング・情報ゾーン

新素材／フィルター材／スクリーン／機能性粉体／エンジニアリング／受託加工サービス／出版／コンピュータシステム／ソフトウェア／助材　など

資源・環境・エネルギー

回収システム／リサイクルシステム／浄化システム／分別システム／清澄化システム　など

◇併催行事

●PX フォーラム

「全個体電池」/「化粧品、食品業界で活躍する粉体技術」をテーマにした講演を予定

●粉体機器ガイダンス

講演と機器説明(テーマは「粉砕」「分級ふるいわけ」を予定)

●粉体工学入門セミナー　入門の入門編

●粉じん爆発情報セミナー

●AI 技術利用セミナー

●海外情報セミナー

●粒子径計測入門

●製品技術説明会

●特別展示(粉の広場)

粉体シミュレーション出展社プレゼン、未来材料ゾーン出展社プレゼン、アカデミックコーナー、分科会展示コーナー、標準粉体展示コーナー、技術相談コーナーをはじめ、多彩なイベントを企画している。

●学生ツアー＆交流会

●APPIE 産学官連携フェア 2023

●テクノマルシェ　～ニーズとシーズの交流会～

◇同時開催

●粉体工学会秋期研究発表会

4. 常置委員会

4.1 総務委員会　(角井寿雄委員長、六車嘉貢副委員長)

委員会開催予定:3 回

活動:

第 3 期中期運営計画に基づき以下を行う。

1) 広報改革

1)-1.APPIE メールマガジン発信を継続し更なる内容の改善を図る。配信先に分科会参加企業を加える。

1)-2.協会ホームページの更新・メンテナンスを引き続き行うと共に、英語 HP リニューアル版を外部専門業者に委託し立ち上げる。

2) 会員増強と退会防止への取組

2)-1 「POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023」非会員出展社に対し入会勧誘を行う。

2)-2 過去3年間の入退会リストを更新し、入会・退会理由を明らかにし、会員増強と退会防止の取り組みについて討議、実施する。最近入会した企業を中心にアンケートを実施し、会員維持に繋げる。

2)-3 新入会員オリエンテーション実施への協力を継続する。

3) 協会活性化

各委員会（組織強化委員会、海外交流委員会、人材育成委員会等）と連携し、協会活性化について議論する。（例えば、女性や若手会員の協会事業への参加など）

4.2 組織強化委員会　（牧野尚夫委員長、角井寿雄副委員長）

委員会開催予定：必要に応じて開催

活動：

1）新入会員オリエンテーションの実施

2023 年 4 月 11 日（東京）、12 月 7 日（大阪）で開催予定であり、総務委員会、分科会運営委員会と連携して準備を進める。

2）協会広報の改革

協会会員および産業界に協会活動を理解して頂くとともに積極的に参画してもらうために、展示会、メルマガや HP などの広報手段の見直し・改善を粉体工業展委員会、総務委員会と連携して引き続き進める。

3）ホームページリニューアル

会員専用サイトの充実化を進めるとともに、2022 年度末予定で改訂する英文ホームページについて、不具合点の確認などを行う。総務委員会、海外交流委員会と連携して実施する。

4）新たな標準粉体販売受発注システムの導入

顧客サービスの向上、受発注業務の効率化などを図るため、製造事業部門と連携して新受発注システムの導入を検討する。

4.3 技術委員会　（牧野尚夫委員長）

委員会開催予定：必要に応じて開催

活動：

1)AI 技術利用委員会の活動を支援する。

2)委員会、分科会に共通する技術的問題が生じた場合は適宜対応していく。

4.3.1 AI 技術利用委員会（酒井幹夫委員長、山本浩充、島田憲成各副委員長）

委員会開催予定：2 回

活動：粉体プロセスにおけるサイバーフィジカルシステムの構築に向けて、講演などを通して最新のデジタル技術に関する情報・知見を得る。データサイエンスに関するチュートリアル（講義）を開催して、協会に AI をはじめとするデータサイエンスに関する技術を浸透させ、会員企業に AI 技術の導入を促進する。

4.4. 「粉体技術」編集委員会　（内藤牧男委員長、加納純也、根本源太郎各副委員長）

委員会開催予定：本委員会　4回、小委員会　12回

活動：協会会員および一般読者にも充実した情報を提供するための様々な企画を積極的に進める。具体的には、協会会員を中心とした各種座談会企画や、現場で使える粉体入門講座、新コラムなどを計画している。さらに、デジタルコンテンツを活用した情報発信、YouTubeの利用などを計画している。2023年度は以下の特集を予定している。

月号	特集予定
4月号	国際粉体工業展東京 2022 を終えて
5月号	協会を支える分科会活動
6月号	現在活躍している炭素材料、革新的な炭素材料
7月号	微粒子ナノテクノロジー（仮）
8月号	SDGs とは？企業活動にいかせる SDGs（仮）
9月号	バイオ粒子プロセス分科会（仮）
10月号	成形プロセス一連をとらえる魅力的な最新技術計測（仮）
11月号	自然界（生き物）から学ぶ粉体技術（仮）
12月号	混合・成形特集（仮）
1月号	ドローン（仮）
2月号	国際粉体工業展東京 2023 を終えて
3月号	ケイ素関連材料（仮）

4.5 推薦審査委員会 （山田幸良委員長、齋藤文良副委員長）

委員会開催予定:3回

活動:年 3 回の会合で、各賞の表彰規定に則って審査業務を実施していく。

4.6 粉体工業展委員会 （山田幸良委員長、槇野利光、三宅康雄各副委員長）

委員会開催予定:東京/大阪粉体工業展委員会の開催時に併せ必要に応じ開催

活動:

1) POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023の開催

2)海外交流委員会と協力し、世界の主要粉体工業展において広報・宣伝を行う。

KOREA CHEM（韓国・ソウル）、IPB（中国・上海）、POWTECH（ドイツ・ニュルンベルク）、iPBS（米国・シカゴ）

4.6.1 東京粉体工業展委員会（槇野利光委員長、芦澤直太郎、森山秀男各副委員長）

委員会開催予定:4回 正副委員長会議他:本会合に合わせ開催

活動:2024年11月27日～29に開催予定のPOWTEX2024開催に向け、新委員の選任及び委嘱を行い、リアル展・オンライン展の計画・立案を行う。

4.6.2 大阪粉体工業展委員会 （三宅康雄委員長、池田憲俊、加藤康弘各副委員長）

委員会開催予定:本委員会3回、小委員会3回、その他会議は必要に応じ開催

活動:「POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023」の開催

1) 開催日時:リアル展 2023 年 10 月 11 日(水)～13 日(金)

オンライン展 2023 年 9 月 27 日（水）～11 月 10 日（金）

2) 会場:インテックス大阪 4・5 号館 および オンライン

3) 開催テーマ:「未来をつくる PX(Powder Technology Transformation)」

4) 開催規模:200 社/600 小間

5) 併催行事および同時開催行事:「3.1 POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023の開催」を参照

4.7 分科会運営委員会 （奥山喜久夫委員長、浅井信義、鈴木康夫各副委員長）

委員会開催予定:本委員会4回、小委員会は必要に応じ開催

活動:

1)分科会活動の全体的な検討を行い、分科会活動が将来に向かって順調に発展するように議論を進める。

2)正副コーディネータ・正副代表幹事・幹事などの体制の改善が必要な場合は、分科会と協力して、組織および運営の充実化を進める。

3)将来必要となる粉体技術などについて議論し、必要に応じ分科会の立上げや統合などについて議論する。

4)Web セミナーやオンサイト開催、さらに分科会開催後の交流会が開催できるようサポートする。

4.8 海外交流委員会 （浅井信義委員長、田辺大二、國枝純各副委員長）

委員会開催予定 : 本委員会 3 回

活動 :

1) 下記４つの海外展示会について、新型コロナなどの状況に応じて対応する。

・KOREA CHEM 韓国・ソウル近郊 4/18（火）－21（金）（交換ブース出展予定）

・iPBS 米国・シカゴ 4/25（火）－27（木）（交換ブース出展予定）

・IPB 中国・上海 7/31（月）－8/2（水）（交換ブース出展予定）

・POWTECH 独・ニュルンベルク 9/26（火）－9/28（木）（交換ブース出展予定）

2) 海外情報セミナー（国際粉体工業展大阪 2023 併催行事） 企画開催

4.9 人材育成委員会 （荻田容宏委員長、槇野利光、菅原尚也各副委員長）

委員会開催予定:本委員会4回

活動:

1) 委員会および「若手のつどい」を年 4 回開催する。

2) 国際粉体工業展大阪 2023 で「学生ツアー・交流会」を実施する。

4.10 標準粉体委員会 （森康維委員長、後藤邦彰副委員長）

委員会開催予定：本委員会2回、小委員会2回

活動：

1) MBP（JIS Z 8900-1)粒子の粒子径分布測定
2) JIS 試験用粉体1（JIS Z 8901）の粒子径分布測定法
3) JIS Z 8901 の改正準備作業

4.11 規格委員会 （松山達委員長、高橋かより副委員長）

委員会開催予定：2回

活動：

1)SAP、JIS、ISOの現状把握、協会規格やJISの定期見直しの対応、JIS原案作成検討、支援をする。

2)協会HPや「粉体技術」誌に新規制定規格などを紹介する。

3)セミナー開催予定

・新規/改正発行されるJISやISOを紹介するセミナーを開催

・「粒子径計測入門」セミナー（国際粉体工業展大阪2023併催行事）を開催

4.11.1 粒子特性委員会 （桜井博委員長、伊串達夫副委員長）

委員会開催予定：2 回

活動：

・2022 年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 4 における ISO 規格文書作成等に取り組む。

・2023 年 10 月に TC24/SC4 国際会議を大阪に誘致し開催する。

・協会で開発した粒子・粉体の機械的特性評価に関する JIS 規格の ISO 化を 2024 年度から開始するための準備を行う。

4.11.2 ふるい委員会 （松山達委員長）

委員会開催予定：1 回

活動：2022 年度に引き続き、ISO/TC 24/SC 8 における ISO 規格文書作成等に取り組む。

・SC8 会議（2023 年秋開催予定）に出席を計画。

4.11.3 集じん技術委員会 （福井国博委員長、森下あや子副委員長）

委員会開催予定：3 回

活動：

WG-B：23742 について IS の発行段階（60.00）までの進展を目標とする。また、ろ布の帯電性能・難燃性能評価試験法に関して国際会議で事前説明を行うなど、提案用規格作成段階の検討完了を目指す。

WG-C：16313-2 については CD の DIS としての投票の終了（40.60）までの進展を目標とする。

4.11.4 JIS 原案作成委員会

4.11.4-1 2022 年度 JIS 原案作成委員会 3 （藤正督委員長）

－JIS Z 8831-2 粉体（固体）の細孔径分布及び細孔特性－ ガス吸着によるメソ細孔及びマクロ細孔の測定方法（ISO 15901-2）の JIS 制定

委員会開催予定：本委員会1回、分科会1回

2023 年 5 月に原案完成予定。

4.11.4-2 2023 年度 JIS 原案作成委員会 1 （伊藤和輝委員長）

－Z 8910「集じん用ろ布の試験方法 － ろ布耐久性測定用のサンプリング方法及び試験方法－

委員会開催予定：本委員会3回、分科会5回

活動：2024年5月に原案完成予定

4.11.4-3 2023 年度 JIS 原案作成委員会 2 （水野耕平委員長）

Z 8890 「粉体の粒子特性評価 － 用語」

委員会開催予定：本委員会3回、分科会5回

活動:2024年5月原案完成予定

4.11.4-4 2023 年度 JIS 原案作成委員会 3 （伊藤和輝委員長）

-ISO 20804:2022 Determination of the specific surface area of porous and particulate systems by small-angle X-ray scattering (SAXS)-

委員会開催予定:本委員会3回、分科会5回

活動:2024年8月原案完成予定

4.12 粉じん爆発委員会 （山隈瑞樹委員長、土橋律、太田潔各副委員長）

委員会開催予定:3回

活動:

1)安全教育:

・粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】（2023年9月7、8日開催予定）

2)最新の規制、規格動向及び技術情報の把握:

WG-A:粉じん危険場所分類検討

WG-B:堆積粉体の着火・燃焼性評価手法ならびに安全対策調査

3)国際粉体工業展大阪2023

粉じん爆発情報セミナーを開催(10月12日)

4)分科会等との連携:

各単位操作工程を専門的に検討している分科会との連携は有意義であるため要請に応じて実施する。

5. 分科会

5.1 粉体ハンドリング分科会

(松坂修二コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、海老原裕之代表幹事、鍋内浩副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2022.7.4	東京	定量供給機の最新動向
2	2023.11.20	神奈川	工場見学(味の素株式会社川崎工場)
3	2024.3.12	未定	未定

幹事会、小委員会開催予定　幹事会　計:3 回

中期の活動テーマ

1) 粉体ハンドリングをマテリアルハンドリングの範疇と捉え、取り組みの範囲を拡大する。
2) 粉体技術者養成講座および粉体技術専門講座の優先度を考えて企画・実践する。
3) 最近の粉体ハンドリング産業の技術力の変遷を把握し、将来展望を見据えた基盤技術や解決困難な技術的課題を抽出し、研究や勉強の場を企画する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

1) コロナ禍、参加者の安全を担保した上で、ニーズにマッチした年 3 回の対面型分科会本会合開催を目指す。
2) 書籍『粉粒体ハンドリング技術』の販売促進を行う。
3) 23 年度中の粉体技術者養成講座開催に向け、企画立案を進める。

5.2 粉砕分科会

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、石井利博代表幹事、湯蓋一博副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.5.30	福島/旭鉱末㈱	石灰石の生産と利用
2	2023.7.10	大阪/日東電工㈱	【粒子積層技術分科会と合同開催】 機能性フィルムに関する講演会(仮)と見学会
3	2023.9.25	大分/JX 金属㈱	【分級ふるい分け分科会と合同開催】 金属製造技術関係の講演会と見学会
4	2024.2.～3.	群馬/㈱日清製粉グループ本社	【食品粉体技術分科会と合同開催】 食品加工技術に関する講演会(仮)と見学会

幹事会開催予定　計:5 回

（共催行事）

回	予定時期	予定地区	テーマなど	主催団体
1	2023.7.27 ～28	鹿児島	「カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを支える分離技術」	粉体工学会

中期の活動テーマ

1）粉砕の重要技術、最新技術、ユーザの潜在的ニーズを分析して、これらを分科会のテーマとして取り上げ、メーカーとユーザとの交流を促進する充実した本会合を目指す。

2）粉砕に関する産業界・学界の交流を通じて、粉砕技術に関する最新の情報を参加者に提供する。

3）粉体技術者養成講座などを通じて、粉砕技術の教育、普及啓発に努める。

4）粉砕技術に関する技術者再教育や国際交流のための企画を検討し実施する。

単年度の事業計画の概要と運営方針

分科会は年 4 回開催する。第 1 回は 5 月 30 日に旭鉱末㈱、第 2 回は粒子積層技術分科会との合同で 7 月 10 日に東電工㈱、第 3 回は分級ふるい分け分科会と合同で 9 月 25 日に JX 金属㈱、第 4 回は食品粉体技術分科会と合同で 2024 年 2～3 月に㈱日清製粉グループ本社にて、講演会と見学会を開催する。また、（一社）粉体工学会主催の「技術討論会」を共催し、産学の交流を図る。粉体技術者養成講座は 11 月 28 日～29 日に杉山重工㈱にて粉砕の講義と実習を実施し、粉砕技術の教育、普及啓発に努める。

5.3 分級ふるい分け分科会

（松山達コーディネータ、所千晴副コーディネータ、佐藤一彦代表幹事、吉田友一、直原健司各副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.06	関東	湿式分級と培養操作（佐竹マルチミクス殿）
2	2023.09 ～	関東方面	講演会と見学会

幹事会開催予定　幹事会　計:2 回

（共催行事）

回	予定時期	予定地区	テーマなど	主催団体
1	2023.07.27 ～28	鹿児島	「カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを支える分離技術」	粉体工学会

中期の活動テーマ

1) 粉体材料の高機能化に向けた分離径制御技術

2) 粉粒体処理プロセス効率化のための分離技術

3) 分級ふるい分け装置のトラブルとその防止策

4) 分級ふるい分けに関する規格と標準化

単年度の事業計画の概要と運営方針

1) 粉粒体取り扱い工場の見学と講演会の開催（2 回）

2) 分級ふるい分け装置における付着、摩耗対策に関する調査

3) ふるい網に関する規格、標準化の情報収集

4) 技術講座の内容検討

5.4 乾燥分科会

（立元雄治コーディネータ、中川究也副コーディネータ、飯田晃弘代表幹事、佐藤澄人副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.7	（未定）	設備見学と講演会
2	2023.11	（未定）	乾燥技術、装置関連の講演会

幹事会予定:2 回

中期活動テーマ

食品、医薬、化学、環境、バイオマス、廃棄物など、できるだけ興味の持てるテーマでの工場見学会、講演会を実施する。また海外の乾燥シンポジウムなどからの最新の乾燥技術・研究動向の報告講演会を開催し、国内への情報発信を継続実施していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

4 年ぶりの見学会（面会）を開催し、分科会活動の活性化を図りたい。オンラインでの幹事会も継続し、幹事の交流も行う。また、粉体技術者養成講座は今年度も実施する。

1) 第1回分科会　見学・講演会（コロナ緩和を見据え、4 年ぶりに見学会の開催を計画する）

2) 第2回分科会　乾燥技術、装置関連の講演会を予定

5.5 集じん分科会

（福井国博コーディネータ、野田直希副コーディネータ、中根幹夫代表幹事、中根隆一副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	7～8月頃	未定	設備見学と講演会
2	11月頃	栃木/住友大阪セメント	設備見学と講演会
3	2月頃	未定	設備見学と講演会

幹事会開催予定:3 回

中期活動テーマ

1)分科会活動は、各幹事の役割分担を明確にし、本会合を2～3回/年程度開催、粉体技術者養成講座の充実、専門講座の数年に一回程度開催などを基本とし、一層の活性化を図る。

2)集じん技術利用領域の拡大や様々な装置との合理的な組み合わせ等を目指し、他分科会との合同開催や他の学・協会との共催行事等を積極的に推進する。また、ユーザからの要望を積極的に調査する。

3)集じん技術委員会の国際規格化推進への支援を継続推進する。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 分科会活動は、新型コロナウイルスへの対応を踏まえ、本会合を2～3回/年開催を企画する。その中で他の分科会との合同、粉体工学会・研究会との共催などを積極的に行う。粉体技術者養成講座は本年度も運営を継続し、広く集じん技術を伝えることを可能とする。

2) 集じん技術委員会への支援は例年通り継続する。

3) 各会合開催は、会員の負担軽減と新型コロナウイルス対応として、WEB開催または併用を適宜検討する。

5.6 混合・成形分科会

（藤正督コーディネータ、森隆昌副コーディネータ、朝日正三代表幹事、藤井淳副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.7.19	東京/㈱構造計画研究所	混合・成形のシミュレーションと実際（仮）
2	2023.11 頃	愛知/新東工業㈱関連会社	セラミックスの成形技術・工場見学（仮）

幹事会開催予定:幹事会:3 回

中期活動テーマ

1)粉体の混合・混練・成形に係わる『温故知新』と『最新技術』をテーマに、最先端事業への取り組みや技術の伝承などについての情報提供の場となるような、工場見学会や講演会を計画する。

2)IoT や AI を活用した自動化システムが、混合・混練・成形の最先端技術にどう反映されているか注目していく。

3)粉体技術者養成講座を通じた教育にも注力し、粉体技術専門講座の開催も目指す。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 見学をさせてもらえる企業・工場はまだ少ないため、幹事会社・装置メーカーでの見学会や他の分科会との共同開催も視野入れて、2023 年度もリアルでの分科会開催を計画していく。

2) 粉体技術者養成講座は、幹事会社の負担軽減を図り、規模を少し縮小するが、引き続き実施していく。

3) 専門講座の来年度実施に向けて準備を始める。

5.7 造粒分科会

（村瀬和典コーディネータ、武井孝副コーディネータ、小泉一郎代表幹事、岩松英敏副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	秋	関東	施設見学会「リサイクル関係」
2	2024/3	関東	技術討論会　未定

幹事会開催予定:4 回

中期活動テーマ

1)会員が業務上で取得したい情報の提供。ユーザーニーズとそれに答えるメーカーの技術・開発の努力を有効に繋げる。

2)造粒による有用な複合材料の創生アプリケーションと様々な最新、ユニークな造粒技術、造粒装置の紹介。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1)造粒をテーマにした施設見学会。テーマ、リサイクル関係を計画

2)造粒をテーマにした技術討論会。テーマ、未定。

5.8 計装測定分科会

（森康維コーディネータ、後藤邦彰副コーディネータ、池田英幸代表幹事、阿川直樹、稲山良介各副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	未定		
2	2023.9	オンライン	粉体計測の基礎（粉体技術者養成講座）

幹事会開催予定：4 回

中期活動テーマ

ナノ粒子・バイオ粒子・エアロゾル計測、AI、IoT に対応するプロセス計測を含む新しい粉体測定技術の探求と信頼性向

今年度の事業計画の概要と運営方針

1)分科会本会合は1回実施予定

2)粉体技術者養成講座は、オンラインで分科会行事として開催予定

5.9 湿式プロセス分科会

（岩田政司コーディネータ、菰田悦之副コーディネータ、浅見圭一代表幹事、佐藤誠副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.5.10	東京	各種プロセスに関するシミュレーション
2	2024.2.8	京都	スラリー評価及び LIB 業界情報、LiC、バインダー等について

幹事会開催予定：2 回

中期活動テーマ

1) 各種プロセスにおける固液分離

・液移動に種々の場の力を用いた固液分離/・難ろ過性スラリーの固液分離

2) 微粒子の凝集・分散状態の制御とその応用

・様々な媒体中における微粒子分散過程の理解

・粒子分散液内部構造のレオロジー解析

・粒子分散状態の相補的解析手法の構築

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 上記活動テーマに即した分科会を開催予定

2) 2023/5 は、シミュレーションに関するテーマを粉体シミュレーション技術利用分科会と共同開催

3) 2024/2 は、湿式プロセスを利用した電池作製・評価についてのテーマを電池製造技術分科会と共同開催

5.10 輸送分科会

（田中敏嗣コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、岸本武志代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.6	未定	未定
2	2023.10	未定	未定
3	2024.3	未定	未定

幹事会開催予定：5 回

中期活動テーマ

1) メーカーおよびユーザー双方の会員にとって有益となる情報収集とその発信に努めたい

1-1) 近年、注目を集めているシミュレーションなどトレンドな情報収集

1-2) 懇親会やアンケートによる情報収集

1-3) 各幹事会社の現状のニーズからの活動内容検討

2) 専門講座の開催に向けた検討を行なう

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 現地/web 含め、3 回/年の開催を目指したい

2) 専門講座開催に向けての分科会/幹事会での議論を行なっていく

5.11 クリーン化分科会

（並木則和コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、林敏昭代表幹事、神谷松雄、谷英明各副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.8	東京	フィルターの規格改正
2	2023.11	未定	未定

幹事会開催予定:2 回

中期活動テーマ

1) 対象を安心、安全、快適な生活空間を確保するためのクリーン化技術(PM2.5 や病原性粒子対策など)に拡大した活動を継続

2) 他の分科会や学会・協会との連携強化

3) これまでの高度なクリーン空間の創出で構築されたクリーン化技術の伝承

今年度の事業計画の概要と運営方針

1)クリーン化技術に関わる工場見学と講演会

2)クリーン化に関わる技術者の育成に役立つ行事

3)運営メンバーの世代交代の準備

5.12 環境エネルギー・流動化分科会

（幡野博之コーディネータ、成瀬一郎副コーディネータ、山本昌幸代表幹事、細田博之副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	4～6 月	関西	最新ごみ焼却・エネルギー利用施設見学
2	7～9 月	東北	廃棄物系バイオマス有効利用施設見学
3	秋～冬	近畿	流動層による未利用エネルギー関連施設見学会

幹事会開催予定:幹事会 1 回

中期活動テーマ

1) 流動層という本分科会の基幹技術の更なる応用・展開事例をリサーチし、発信していく。

2) 再生可能エネルギー(木質バイオマス、廃棄物系バイオマス)利用の最先端技術を紹介していく。

3) 新しい環境づくり、新しい社会の創生への筋道を「環境エネルギー」というキーワードと共に、本分科会活動を通して学習し、発信していく。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 再生可能エネルギー(木質バイオマス、廃棄物系バイオマス)利用の最先端技術の学習

2) 粉体技術としての流動層適用事例の見学または講演

3) 環境・エネルギー関連の講演会または見学会

5.13 晶析分科会

（白川善幸コーディネータ、正岡功士各副コーディネータ、伊藤雅章代表幹事、金子雅哉副代表幹事）

回	予定時期	予定地域	主テーマ
1	2023.8	東京	日独講演会（微粒子ナノテクとの合同）
2	2024.3	大阪	晶析操作における溶媒に関する講演会

幹事会開催予定:5 回

中期活動テーマ

1) 国際的な最先端の技術情報の発信

2) 他の分科会、研究グループとの技術交流

3) 見学会および専門講座の再開

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 水素エネルギー利用

2) 粒子成長過程計測の最新技術

3) 晶析操作における最適溶媒

5.14 微粒子ナノテクノロジー分科会

（渡邉哲コーディネータ、飯島志行副コーディネータ、鳥居経芳代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023. 8 月	京都	ナノテクノロジーの現在位置（仮題）
2	2023. 9 月	東京	ナノテクノロジーに関する国際的動向
3	2024. 3 月	未定	見学会を含めた講演会

幹事会開催予定:4 回
中期活動テーマ
1) 産業レベルでの微粒子・ナノ粒子の有効な利用技術、プロセス技術、量産技術及び応用例などについての最新情報の収集とその発信。
2) 微粒子・ナノ粒子の安全性への対応についての情報収集。
3) 技術発展が著しい中国や欧州など海外での微粒子・ナノ粒子関連技術の情報収集とその発信
4) 若手技術者の知識向上を主眼とした微粒子・ナノ粒子に関する基礎的情報の発信
今年度の事業計画の概要と運営方針
1)ナノテクノロジーに関するこれまでの振り返り、および国際的な動向の発信を目的とした講演会開催
2)利用や応用に関する最新技術の対面での発信、コロナ禍対策を講じての見学を伴う講演会開催

5.15 電池製造技術分科会

(境哲男コーディネータ、堤敦司副コーディネータ、堀越勝代表幹事、木村正人、根本滝郎各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.06	東京	EV用電池、リサイクル技術
2	2023.10	名古屋	電力貯蔵用電池、
3	2023.02	関西地区	ポストLIB電池

幹事会開催予定:3 回
中期活動テーマ
1)全固体電池などの次世代EV用LIB電池の開発状況と粉体技術についての情報収集。
2)ポストLIB電池として実用化を目指す革新的二次電池と粉体技術についての情報収集。
3)商用車や船舶、飛行機などの電動化に使われる水素・燃料電池とその粉体技術についての情報収集。
今年度の事業計画の概要と運営方針
1)固体電池や硫黄電池など次世代EV用電池の開発状況と課題に関する情報収集。
2)電力貯蔵用蓄電池の開発状況と課題に関する情報収集。
3)電池リサイクル技術の開発状況と課題に関する情報収集。

5.16 リサイクル技術分科会

(大矢仁史コーディネータ、外川健一副コーディネータ、齊藤陽代表幹事、馬場一寿、水野裕太各副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.6	愛知	太陽光パネルのリサイクル
2	2023.10	沖縄	廃自動車と廃家電リサイクル工場見学
3	2024.2	未定	脱炭素に関する講演・見学会

幹事会開催予定:6 回
中期活動テーマ
1) 次世代リサイクル技術(特に発展性の高い EV 等の自動車)への展開
2) AI, IoT を含めた廃棄物処理に関する新規技術のピックアップ
3) 低炭素社会を実現するリサイクル技術(廃プラスチック関連 他)
今年度の事業計画の概要と運営方針
1) 先端技術である AI, IoT における活用方法や次世代リサイクル技術への展開を学ぶ
2) SDGs やカーボンニュートラルに貢献できるリサイクル技術を検討する
3)今後ニーズや市場規模が拡大しそうな新規リサイクルテーマ・技術を模索・取得し、情報展開を図る

5.17 食品粉体技術分科会

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、二宮隆志代表幹事、西村元樹副代表幹事)

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.5～7	未定	-
2	2023.11 ～	未定	-
3	2024.2～3	未定	-

幹事会開催予定:3 回
中期活動テーマ
1)食品製造の基本となる『安全・安心』をメインテーマとする。
2)『最先端の生産技術』、『新たな調理・生産方式』、『ロボット、AI、IoT 等のデジタル技術活用』、『食品の衛

生管理』、『食品および容器包装の廃棄とリサイクル等』、などをサブテーマとする。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1)中期活動テーマに沿って、食品工場の見学の他講演会や他分科会との共同開催などを通じ、食品に関わる新しい情報、技術を習得できる活動を行う。

2)単位操作技術についての「基礎」と「最新動向」だけではなく「ロボット、AI、IoT 等のデジタル技術活用」など、食品メーカーに有意義な情報を提供していく。なお、本分科会のテーマは食品に関わる重要技術を取扱っているため、協会のみでなく食品関連他団体とも連携して幅広く参加者を勧誘していきたい。

5.18 粒子加工技術分科会

（竹内洋文コーディネータ、岩本清副コーディネータ、浅井直親代表幹事、伊藤有一、根本源太郎副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.9 月	東京	未定
2	2024.2 月	未定	未定

幹事会開催予定:3 回

中期活動テーマ

製剤における粒子加工技術の向上

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 粒子加工技術及び製剤などに関する講演会・・・年 2 回

2) 製剤と粒子設計シンポジウムを粉体工学会の部会とともに共催し、各種粒子関連技術の交流を促進する

3) 粉体技術者養成講座開講・・・年 1 回

5.19 粉体シミュレーション技術利用分科会

（酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、島田憲成代表幹事、小澤和三副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.5	ハイブリッド	湿式プロセスとシミュレーション(仮)
2	2023.7	ハイブリッド	混合・成形とシミュレーション(仮)
3	2023.10	大阪	粒子積層・電池製造・シミュレーション(仮)

幹事会開催予定:3 回

中期活動テーマ

1) 大学、ベンダー企業、ユーザ企業の交流を通じたより実践的なシミュレーション技術の開発。

2)粉体シミュレーションの技術者育成。

3)最新のデータサイエンスやデジタル技術を組み合わせたより効果的なシミュレーションの活用方法の研究。

今年度の事業計画の概要と運営方針

1)シミュレーション技術の産業利用促進を目的とした教育や講習会に取組む。

2)他分科会との連携に取組み、シミュレーションの適用範囲の拡大を図る。

3)AI やデジタル技術とシミュレーションを組み合わせることで、新しい付加価値の創出を図る。

5.20 粒子積層技術分科会

（山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事、中村圭太郎副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.07	大阪	粉砕分科会との合同分科会
2	2024.01	東京	未定

幹事会開催予定:2 回

中期活動テーマ

1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と課題に関する最新情報の収集と発信

2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集とその発信

3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積（配列制御）に関する情報収集と発信

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 湿式および乾式粒子積層プロセス技術の応用例と最新情報の収集と見学会、講演会の開催

2) 粒子積層技術の工学的体系化を指向した情報収集及び講演会の開催

3) 粒子積層状態及び積層過程の評価、粒子集積（配列制御）に関する情報収集と講演会の開催

5.21 バイオ粒子プロセス分科会

（野村俊之コーディネータ、荻崇副コーディネータ、片山和彦代表幹事、秋山聡副代表幹事）

回	予定時期	予定地区	主テーマ
1	2023.6	埼玉	バイオリアクターと湿式分級機
2	未定	未定	未定
3	2022.1	大阪	バイオ粒子の基礎と応用

幹事会開催予定:3 回

中期活動テーマ

1) 医薬・食品等の製造プロセスから資源循環、環境浄化、クリーン化まで幅広い分野において、微生物やウイルスなどの生体や生体関連物質を「バイオ粒子」と捉えた新しい側面からの関連する課題や技術に関する最新情報の収集と発信

2) バイオ粒子プロセス技術の微粒子工学的体系化

今年度の事業計画の概要と運営方針

1) 第1回分科会　分級ふるい分け分科会と合同で佐竹マルチミクス株式会社での見学・講演会を開催（2020 年度、2021 年度、2022 年度開催予定も延期）

2) 第 2 回分科会　見学・講演会を開催（テーマを検討中）

6. 粉体工業技術センター　（牧野尚夫センター長、前田孝善副センター長）

6.1 教育部門 （松坂修二マネジャー、白川善幸、藤井淳各副マネジャー）

委員会開催予定：本委員会1回

活動：教育部門講座を下表のとおり計画する。

1)粉体入門セミナー：参加者のレベルに合わせるよう工夫する方針とし、講座レベルが分かりやすい体系図入りの案内用パンフレットで参加者が講義レベルを適切に判断できるようにする。

2)粉体技術者養成講座：開催時の状況を判断して、より良い講座となるよう努めていく。

3）粉体技術専門講座：毎年 2、3 回の開催が望ましく、各分科会に協力をお願いする。

4)アドホックセミナー、経営講座、特別講座：案が出された時点で対応していく。

講座名とタイトル		開催日	開催場所	募集人数
粉体入門セミナー（Ⅰ）（第 68 回）		2023.6.7～8	東京/アーバンネット神田カンファレンス	60
粉体入門セミナー（Ⅱ）（第 69 回）		2023.6.20～21	東京/アーバンネット神田カンファレンス	60
粉体入門セミナー（Ⅲ）（第 70 回）		2023.7.5～6	東京/アーバンネット神田カンファレンス	60
粉体技術者養成講座	混練	2023.10.20	大阪/㈱ダルトン	15
	乾燥	2023.10.26～27	千葉/月島機械㈱	10
	分級	2023.11 月上旬	未定（関東）	8
	粒子加工	2023.11.15～16	大阪/㈱ダルトン	7
	粉砕	2023.11.28～29	愛知/杉山重工㈱	15
	集じん	2023.12.5～6（予定）	名古屋/ウインクあいち（予定）	12
	ろ過	2024.1 月末～2 月初旬	大阪/関西金網㈱	9～12
	粉体ハンドリング	2024.2 月頃	未定	未定
第 72 回粉体技術専門講座 晶析		2024.8.23～24	千葉/日本大学　生産工学部　津田沼キャンパス、月島機械㈱R&D センター	35
粉じん爆発・火災安全研修 [初級・基礎編]		2023.9.7～8	Web 講座	

6.2 製造事業部門 （前田孝善マネジャー）

活動:

1) 標準粉体受発注新システムの検討
2) 協会事業の一環として運営されている JIS 試験用粉体・APPIE 標準粉体の頒布事業が、各産業界の発展に貢献できるよう今後も業務効率化を図りながら、事業を進めていく。

（単位:千円）

	2023 年度予算
売上(千円)	98,000
（売上前年度実績比%）	108.9
事業費(支出)	74,635
収支差	23,365
(収支差前年度比%)	85.4

6.3 産学技術交流推進部門 （後藤邦彰マネジャー、三宅康雄副マネジャー）

委員会開催予定:3 回

活動:

1) 技術相談

引き続き、講演会、セミナー、展示会で DM 配布をする。技術相談 15 件をめざす。

2) APPIE 産学官連携フェア 2023（POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023併催行事）

講座名	開催日	講演場所
APPIE 産学官連携フェア 2023	2023.10.12(木)	大阪/インテックス大阪

3) テクノプラザ（POWTEX®2023－国際粉体工業展大阪2023の併催行事）

講座名	開催日	講演場所
テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～（仮）	2023.10.12(木)	大阪/インテックス大阪

※APPIE 産学官連携フェア 2023 の後に名刺交換会として開催を予定。（イベント名を「テクノプラザ～産学官技術交流会～」から「テクノマルシェ～シーズとニーズの交流会～（仮）」に改題する予定）

4) 粉体技術セミナー

・ベストシーズ講演会（技術シーズ賞受賞記念講演会）

隔年開催のため、2023 年度は開催なし。（国際粉体工業展東京2024の併催行事として開催予定）

7. 技術情報交流懇話会

7.1 火曜会: 東京にて 4 回開催する。

4 月 11 日、7 月 11 日、10 月 3 日、2024 年 1 月 16 日

7.2 水曜会: 名古屋にて 3 回開催する。

6 月 21 日、10 月 25 日、2024 年 2 月 14 日

7.3 木曜会: 大阪にて 3 回 開催する。

5 月 11 日、9 月 14 日、12 月 7 日

7.4 金曜会: 福岡にて 3 回開催する。

7 月 7 日、12 月 1 日、2024 年 3 月 8 日

8. 共催・協賛及び後援行事 (2023.4.1～2024.3.31)

8.1 共催

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第 57 回技術討論会	2023.7.27～7.28	鹿児島/川内駅コンベンションセンター	(一社)粉体工学会
第 40 回エアロゾル科学・技術研究討論会	2023.8.30～8.31, 9.1	オンライン開催	日本エアロゾル学会

8.2 協賛

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第 40 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	2023.4.18 ～4.19	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
産学人材育成パートナーシップ事業	2023.4 ～2024.2	東京、千葉、オンライン開催	(公社)化学工学会
界面コロイドラーニング-第 39 回現代コロイド・界面化学基礎講座-	東京:2023.6.1 ～6.2 大阪:2023.6.15 ～6.16	同志社大学 東京オフィス 大阪科学技術センター	日本化学会 コロイドおよび界面化学部会
第 9 回コアリション・コンファレンス	2023.6.6	仙台/東北大学新青葉山キャンパスス	(一財)光科学イノベーションセンター
FOOMA JAPAN2022	2023.6.6 ～6.9	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本食品機械工業会
第 1 回講演会	2023.6.9	オンライン開催	(一社)日本塗装技術協会
色材セミナー	2023.6.14	オンライン開催	(一社)色材協会 関西支部
第 20 回技術講演会	2023.7.12 ～7.13	東京/品川インターシティ	新製剤技術とエンジニアリングを考える会
粒子・流体プロセス技術コース 2023	2023.8 月 ～2024.2 月	サテライト実習実施機関(九州工業大学、東京高専、新潟大学、群馬大学)	化学工学会粒子・流体プロセス部会流動層分科会
ASCC 2023(Asian Symposium on Contamination Control)	2023.9.20～ 9.22	石川/金沢東急ホテル	(公社)日本空気清浄協会

8.3 後援 ―

9. 刊行物

9.1 「粉体技術」
編 集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会
発 行 (一社)日本粉体工業技術協会
月刊誌 (1,650 円・税込) (A4 版 約 100 ページ 約 1,500 部/月)

9.2 (一社)日本粉体工業技術協会 事業案内(和文 2023 年度版) A4 版 12 ページ
編集／発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行:2023 年 9 月(400 部)

9.3 粉じん爆発・火災安全研修【初級/基礎編】
主催: (一社)日本粉体工業技術協会/(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
企画: (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
後援: (公社)産業安全技術協会
発行: 2023 年 9 月 7 日予定

9.4 粉じん爆発情報セミナー
編集:(一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
発行:2023 年 10 月 12 日予定

9.5 日本粉体工業技術協会開催の各種セミナー・講習会と教育部門の講座用テキスト
編集／発行所:(一社)日本粉体工業技術協会 教育部門他
発行:各 20～100 部

9.6 APPIE 産学官連携フェア 2023 シーズ集
編集/発行所:一般社団法人日本粉体工業技術協会 APPIE 産学官連携フェア実行委員会
発行:2023 年 10 月 12 日